

# 国産濃厚飼料としての「イアコーンサイレージ」生産利用

農研機構北海道農業研究センター  
(北海道ブロック)

**技術概要**：牛乳の生産に欠かせない濃厚飼料は、9割近くを輸入に依存するため、飼料価格の変動が酪農家の経営の安定性を損なっている。トウモロコシ雌穂のみを原料とする栄養価の高いイアコーンサイレージは、自給濃厚飼料として利用でき飼料費を削減できる。さらに、耕畜連携で生産利用に取り組むことで、地域の資源循環が図られる。また、飼料自給率の高い牛乳の生産が可能になる。

**品目**：飼料用トウモロコシ  
**技術分類**：飼料自給率向上、環境負荷低減  
**導入効果**：購入飼料費削減、耕畜連携による資源循環、高嗜好性飼料、牛乳の差別化



## 技術導入・普及時の問題点

- サイレージ開封後の変敗による損失を抑えるため、細断型ロールベアを用いたロールベールでの調製を推進している。



- 大型のTMRセンター等では、ロールベール体系の作業時間、作業人数の削減が課題。

## 解決に向けた取組

- 収穫後の原料をチューブサイロ(直径2.7m、長さ60m)で調製する方法を試みた。
- 北海道上川地区のTMRセンターで取り組みを開始している。



2024年度  
収穫面積: 65ha  
収穫・調製日数: 3日間  
収量: 1.2t/10a(チューブ5.5本)  
◆調製時間、調製委託費ともに  
ロールベール体系の1/2  
◆作業人数もロールベール調製時の  
半分以下



2023年度産を使ってみて・・・  
発酵品質、嗜好性ともに良好  
発酵スピードが速い気がする  
TMR調製時の作業時間も減少